

修 学 上 の 事 項

1 教育課程・教育方法について

大学院における教育課程は、その大学院の教育目的に応じて、教育上必要な授業科目を開設し、これを組織的・体系的に編成し、実施するものとされています。

また、授業科目の授業のほか、学位論文の作成等に対する指導（研究指導）を行うものとされています。

2 授業について

(1) 学期（授業期間）

本学では、年度を前期（4月1日～9月30日）、後期（10月1日～翌年3月31日）の2期に区分する2学期制をとっており、各授業科目の授業は、原則として15週間にわたる期間を単位として行います。

(2) 授業の方法

各授業科目の授業は、講義または特定研究により行います。

(3) 授業科目の単位

本研究科における講義による授業科目については、15時間の授業をもって1単位、特定研究については、30時間の授業をもって1単位とします。

(4) 授業時間

本研究科における授業は、月曜日から金曜日まで、各5時限で実施しています。

各時限の授業開始・終了時刻は次のとおりです。

時 限	授業開始・終了時刻
1	8：50～10：20
2	10：40～12：10
3	13：20～14：50
4	15：10～16：40
5	17：00～18：30

※社会人学生のための教育方法の特例について

工学研究科博士課程後期課程では、大学院設置基準14条に定める教育方法の特例を実施しています。

社会人学生は、授業担当教員と相談のうえ該当教員の合意を得て、授業の一部を夜間及び特定の時期に受講することができます。

3 単位の授与及び成績評価について

(1) 単位の授与

一の授業科目を履修し、試験に合格した者に対して、所定の単位を与えます。

(2) 成績評価

成績は、授業担当教員が授業科目の授業が修了した学期末に行う試験の結果及び学習状況等を勘案して総合評価をします。

なお、標語及び基準は次のとおりです。

標 語	標 語 基 準
優	100点～80点以上
良	80点未満～70点以上
可	70点未満～60点以上
不可	60点未満（不合格として単位を与えない。）

4 授業科目、修了要件及び履修手続きについて

(1) 授業科目

本研究科の授業科目は、研究科規則に定められており、授業科目の概要等については、5ページ以下に掲載しています。

① 講義

専任の教員のほか、協力教員又は非常勤講師が担当するものがあり、2単位の授業科目です。

② 特定研究

学生の研究能力を高めるために、学生ごとに、特定の研究課題を設けて行う演習による授業です。この授業科目は、指導教員が担当します。

(2) 修了要件

学生は、自己の研究課題に対応して、10単位以上を修得しなければなりません。

詳細は、各専攻の頁を参照してください。

(3) 履修手続

授業科目の履修に当たっては、履修要覧に掲載している「授業科目開講予定一覧表」及び毎学期の当初に配布する「授業時間割表」に定めるところに従い、在学する3年間にわたる履修授業科目を綿密に検討したうえ、下記期間中にパソコンからWEBによる履修登録を行ってください。なお、登録後に登録控をプリントアウトし工学研究科教務学生係に提出してください。（登録控を提出しなければ、登録上のミスがあっても修正には応じません。）

WEBによる履修登録については別途配布するマニュアルを参照の上行ってください。また、大学側のデータ作成ミス等により履修登録エラーが発生した場合については、その都度掲示等によりお知らせします。未確認から生じる不利益等は、本人がその責を負うことになるので注意してください。

【平成19年度】

前期授業科目履修登録期間：4月19日(木)から4月27日(金)

履修登録控提出先：工学研究科教務学生係

なお、履修登録する際は、事前に担当教員と連絡をとり、講義予定等を確認してください。

また、他の研究科の授業科目を履修しようとするときは、指導教員の承認を受け、研究科長を経て、当該研究科長の許可を受けなければなりません。

5 授業科目の試験及び成績について

(1) 本研究科の授業科目の試験は、授業科目の授業が終了した学期末に、各担当教員が期日を定めて、筆記試験、口頭試問又は研究報告等によって行います。

(2) 試験の実施要領については、各担当教員より通知します。

(3) 各授業科目の成績は、優、良、可、不可に分け、可以上を合格とします。

特定研究は、合格又は不合格とします。

また、特定研究の成績は、最終学年において評価します。

6 交通機関の運休、台風等の場合における授業、学期末試験の取り扱いについて

阪急電鉄、阪神電鉄（2社とも）又はJR西日本の交通機関がスト等のため運休した場合、若しくは、兵庫県阪神地方に「暴風警報」が発令された場合は、当日のその後に開始する授業（学期末試験を含みます。）を休講とします。ただし、次の場合は授業を実施します。

1. 午前6時まで交通機関が運行し、又は警報が解除された場合

1時限目の授業から実施します。

2. 午前10時まで交通機関が運行し、又は警報が解除された場合

3時限目の授業から実施します。

- (注) 1. 警報は「神戸海洋気象台が発令する警報」によるものとします。
2. 少人数の授業については、担当教員と受講者が相談して授業を行うことがあります。

7 研究指導について

大学院の教育方法については、大学院設置基準第11条に、「大学院の教育は、授業料目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行うものとする。」と規定されています。この場合において、「授業料目の授業は単位制度によるものであり、研究指導は単位制度によらないものであって、単位制度によらずに多様な形で行われる研究指導が大学院の教育上重要な意義を有するもの」とされています。

本研究科後期課程の修了要件についても、研究科規則第35条第2項において、研究科に3年以上在学し、10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することと規定されており、研究指導は、課程修了のための重要な要件の一つとなっています。

本研究科における研究指導は、入学した学生ごとに、指導教員が研究指導題目を定め、指導教員と関連分野の教員により、幅広く効果的に指導を行うほか、総合研究プロジェクトに参加させる等、研究能力の向上や共同研究の手法にも習熟できるよう配慮しています。

※社会人学生のための教育方法の特例について

工学研究科博士課程後期課程では、大学院設置基準14条に定める教育方法の特例を実施しています。概要は次のとおりです。

1. 指導教員の合意を得て、授業及び研究指導の一部を夜間及び特定の時期に受講することができます。
2. 学位論文の作成が進展しており、企業等に研究に関する優れた施設や設備があり、それを用いた方が成果が上がる、指導教員が認める場合は、勤務する企業等においても研究することができます。

8 研究経過発表会及び研究成果発表会について

(1) 研究経過発表会

- ① 1年次及び2年次に研究経過発表会を実施し、博士論文の作成に関し適切な指導を行います。
- ② 研究経過発表会の開催の時期等は学生の所属する専攻より通知します。
- ③ 研究経過を認定した者には、研究経過認定通知書を交付します。

(2) 研究成果発表会

- ① 3年次に学位論文審査の願い出に先立ち研究成果発表会を開催し、研究成果が優れていると認められれば、博士論文の提出及び審査に進みます。
- ② 研究成果発表会における発表者は、本研究科後期課程に2年以上在学し、かつ、修了所要単位（10単位）の全てを修得している者（修得見込みの者を含む。）でなければなりません。
- ③ 研究成果発表会は、原則として学位論文提出の1か月前までに学生の所属する専攻の主催により開催します。
- ④ 研究成果発表会の開催の時期等は学生の所属する専攻より通知します。
- ⑤ 研究成果を認定した者には、研究成果認定通知書を交付します。

Ⅱ 各専攻共通授業科目の概要

◎各専攻共通授業科目の概要

【先端融合科学特論Ⅱ－１～Ⅱ－４】

各専攻における選択科目に該当します。

【マルチメジャーコース】

次のとおり学際工学特論のそれぞれの科目に対応したサブコースを設定します。

学際工学特論A：バイオテクノロジーコース

学際工学特論B：シミュレーション工学コース

学際工学特論C：流体・輸送現象コース

学際工学特論D：ナノ材料工学コース

学際工学特論E：経営概論コース

学際工学特論F：安全と共生の都市学コース

各サブコース修了の認定は、選択したコースの中で開講される複数の科目を修得し、各コースで決められた修了要件を満たす場合に、各サブコース修了の認定を行い、コースに対応した学際工学特論A～Fのいずれかの認定証書が授与されます。なお、認定した単位は、後期課程の修了要件とは別に扱います。

【派遣型産学連携教育】

工学系全専攻を対象に、企業への派遣型「実践工学コース」を開講いたします。実践工学コースは、企業からの実践的な課題提供と、企業と大学の双方向の指導による問題解決能力の養成を目指した院生派遣プロジェクトです。実践工学コースでは、産業界が現在取り組んでいる生の課題を院生に与えてもらい、院生はその課題の中から問題を発見し商品開発など企業での研究開発を実践します。前半に企業によるProject-X的な授業や事前教育、後半に企業派遣を行いません。なお、認定した単位は、後期課程の修了要件とは別に扱います。

【先端融合科学特論Ⅱ－１～Ⅱ－４】

先端融合科学特論Ⅱ－１（都市域沿岸環境再生プロジェクト）

Advanced Science and Technology Ⅱ-1

担当教官職名・氏名：理学研究科 教授 川井浩史，三村徹郎

准教授 村上明男

海事科学研究科 教授 永田進一

准教授 林 美鶴，岡村秀雄

目的・方針：埋立などによる海岸線の人工改変がすすみ，また高度に富栄養化した都市部の海岸では，極端な生物多様性の減少や外来生物による優占，赤潮や貧酸素水塊の発生に代表されるように，沿岸環境が大きく劣化している。これに対して，様々な沿岸生物の特性を生かした沿岸環境の再生に関わる話題を解説する。

内 容：海藻類の生物多様性に注目した沿岸環境の長期モニタリング手法について解説する。また，海藻類，植物プランクトン，海産被子植物や好塩性細菌類が海洋の生態系や海洋環境の保全に果たしている役割，これらの生物群の環境適応能と，その能力を用いたファイトレメディエーション，海産バイオマスの有効活用などの可能性について解説する。

履修上の注意：特になし。

成績評価の方法：出席およびレポートにより評価する。

教科書：特に指定しない。講義毎に資料を配付する。

開講期：前期

単位数：2

先端融合科学特論Ⅱ－２（知的精密生産研究）

Advanced Science and Technology Ⅱ-2

担当教官職名・氏名：工学研究科 教授 田浦俊春，白瀬敬一，貝原俊也

准教授 柴坂敏郎，鈴木浩文，妻屋 彰

目的・方針：製造業を支える生産システムにおいては，超精密加工のようなハードの技術とバーチャルファクトリやサプライチェーンマネジメントといったソフト／システム化技術の融合による革新的な生産科学，生産技術の開拓が求められている。そこで，設計・生産分野における最先端の研究動向や技術動向について，6名の教員がオムニバス形式で解説する。

内 容：創造的設計：設計論や設計工学に関する最新の研究成果および技術について講述する。

知的作機械：機械加工のインテリジェント化を実現するための最新の研究成果を紹介する。

知的生産システム運用：生産システムを自律分散の概念に従い，効率的かつロバストに運用するための方法論について説明する。

インテリジェントモニタリング：切削加工を中心としたモニタリング技術・方法論の現状および動向について概観する。

超精密マイクロ加工：電子・光学デバイスの開発と精密・微細キーパーツの加工に不可欠な，最先端の超精密機械加工技術について講義する。

設計知識・設計意図のマネージメント：製品設計における設計知識と設計者の意図を形式化し，製品ライフサイクル全体を見据えて利用するための方法について述べる。

履修上の注意：設計・生産分野の最先端トピックスを取り扱うので，設計・生産分野の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法：講義の出席率，ならびにレポートで総合的に評価する。

教科書：設計・生産分野の最先端トピックスを紹介するので特定の教科書は用いない。

開講時期：前期

単位数：2

先端融合科学特論Ⅱ－3（ゲノム育種研究）

Advanced Science and Technology Ⅱ-3

担当教官職名・氏名：農学研究科 教授 向井文雄，中村千春，保坂和良

准教授 森 直樹，万年英之，石井尊生，宅見薫雄，大山憲二，高崎剛志

目的・方針：ゲノムに蓄積された有用遺伝情報の解明およびゲノム情報を用いた未来型食料資源の開発や次世代育種技術の確立を目指した方法論を理解する。

内 容：有用遺伝子の同定法，遺伝的能力評価法，倍数体ゲノム，DNAプロファイリング，遺伝的多様性解析，品質評価技術などをキーワードとし，食の安全安心と持続的生産に関する最新研究を講述する。

履修上の注意：遺伝学の基礎知識を有することが望ましい。

成績評価の方法：出席状況・受講態度・レポート評価・小テストなどによる

教科書：なし

開講期：前期

単位数：2

先端融合科学特論Ⅱ－4（国際海事社会の知的拠点形成研究）

Advanced Science and Technology Ⅱ-4

担当教官職名・氏名：海事科学研究科 教授 古荘 雅生，吉田 茂，林 祐司，石田 憲治

目的・方針：神戸の海事分野は国際海上物流社会でのプレゼンスが弱体化して，世界に向けたアイデアを発信できない産業社会構造になっている。講義の目的は，どのような方法で神戸の海事社会の再生と知的拠点形成が可能かを議論する。

内 容：講義の目的は，どのような方法で神戸の海事社会再生とイノベーションを提案可能なクラスターの検討である。神戸市を中心とした，海事社会の4要素SWOT現状分析を行い受講者独自の「神戸モデル」を提言する。

履修上の注意：特になし

成績評価の方法：レポートの評点

教科書：特に指定しない

【マルチメジャーコース】

学際工学特論A（バイオテクノロジーコース）

本コースでは、近年、その重要性が益々高まっている医療工学・生体工学の基礎および生化学反応や生物機能を利用した物質生産プロセスを構築するうえで基盤となる技術体系を修得することを目的とし、「バイオマテリアルの基礎」、「再生医療の基礎」、「バイオエンジニアリング」の3科目6単位を開講する。「バイオマテリアルの基礎」と「再生医療の基礎」は、毎週土曜日の午後に神戸臨床研究情報センターにて学外講師陣によるオムニバス形式で、また、「バイオエンジニアリング」は工学部内で開講する。

学際工学特論B（シミュレーション工学コース）

近年の計算機の著しい発達とマイクロからマクロレベルに及ぶ様々な物理現象に適した計算手法及び高速プログラムの開発により、コンピュータシミュレーションは理論、実験と並ぶ第3の科学技術手法として位置付けられています。シミュレーション技術は、各種理工学分野はもとより社会科学に至るまで広く利用されており、新技術の研究開発から、製品や製造プロセスの設計、環境保全から安全で安心できる快適な生活をするために不可欠な基盤技術となりつつあります。本コースでは、理工学分野の深い理解と最新の研究成果を基に新たな可能性を追求する能力、分野を横断した多様なシミュレーション工学に習熟し現状を迅速・的確に掌握する能力を有する若手技術・研究者の育成を目的としています。広範なシミュレーション工学を理解し、シミュレーション結果の解釈と妥当性の自律的判断能力を養うための数値シミュレーションの基礎、新たなプロセスの開発や高効率化、低コスト化を図り迅速な新製品開発、気象、地球環境保全と安全性から、構造の設計と制御、逆問題解析と安全工学、機器設計等の分野、電子・原子レベルの材料評価、ナノデバイスシミュレーションに至る最先端シミュレーション工学に関する6講義を準備しております。それぞれの講義は、相互に連携をとりつつ、独立して受講できるように配慮しています。

学際工学特論C（流体・輸送現象コース）

本コースでは、①流体力学の基礎、②乱流輸送現象、③統計力学による熱流体现象、④熱・物質移動論の講述により、流体力学・輸送現象の基礎と応用を修得することを目的とする。本コースの履修により卒業後の実務における熱流体解析及び流体现象の設計・制御が可能となる人材育成を目指している。

学際工学特論D（ナノ材料工学コース）

教授 林 真至 ほか

ナノメートルサイズの物質系が示す特異な物理的、化学的性質、それに基づき発現する新規機能性及び応用の可能性について講述する。具体的には、ナノ材料創製、ナノ材料評価、ナノ材料物性について論じる。

学際工学特論E（経営概論コース）

本講義では、経営に関する概論を講義する。企業に関わる者は経営に関する最低限の知識を持つべきであり、技術系社員にとっても同様である。この最低限の経営リテラシーを身につけることを目的として、戦略論・マーケティング論、組織論、財務会計、管理会計、経営財務、技術経営などから、選択して講義する。

○戦略論・組織論・マーケティング論

流通科学大学教授 井上芳郎

○管理会計・原価計算

経営学研究科助教授 安井一浩

○財務会計

連携創造本部特別研究員 土居雅彦

○技術経営

連携創造本部客員教授 石井昭三

○企業活動に関する法律

連携創造本部客員教授 南方得男

学際工学特論F（安全と共生の都市学）

教授 重村 力, 教授 朝倉康夫 ほか

安全と共生（自然環境との共生および多様な主体の共存協力）という価値目標を基盤とする都市空間デザインの理念と方法論を総合的に学ぶ。

【派遣型産学連携教育】

インターンシップ

教授 賀谷信幸 ほか

Internship

コースの概要

目的・方針：実践工学コースは、企業からの実践的な課題提供と、企業と大学の双方向の指導による問題解決能力の養成を目指した院生派遣プロジェクトである。実践工学コースでは、産業界が現在取組んでいる生の課題を院生に与えてもらい、院生はその課題の中から問題を発見し商品開発など企業での研究開発を実践する。

IV 各専攻の授業科目の概要等（英文版）

**Summaries of each major class subject
(English version)**

◎各専攻共通授業科目の概要
A summary of each specialty common class subject

先端融合科学特論Ⅱ－１（都市域沿岸環境再生プロジェクト）

Advanced Science and Technology II-1 (Restoration of coastal environment' project)

Professor: Graduate School of Science

Professor: Hiroshi Kawai, Tetsuto Mumura

Associate Professor: Akio Murakami

Graduate School of Maritime

Professor: Shinichi Nagata

Associate Professor: Mitsuru Hayashi, Hideo Okamura

Objective

The environment of enclosed coastal areas, especially those facing to urban areas has been deteriorated by the artificial changes of coast lines and reclamations, and by the eutrophication (i.e., the reduction of biodiversities, frequent occurrences of red tides and anaerobic water masses at sea bottom. In the lecture, we introduce the projects and research topics related with the improvement of the coastal environment using various marine organisms.

Content

We introduce the long-term monitoring projects studying the biodiversity of marine macroalgae. We also introduce the ecological features of marine macroalgae, phytoplanktons, seagrasses and halophilic bacteria, and their adaptation and function in the marine ecosystems. We will also discuss the possibility to use those organisms for the phytoremediation and as the resource of biomass.

Grading

Evaluated based on frequency of attendance and quality of reports.

Text book

Not specified. Reference materials will be distributed in the class.

Restrictions

No

先端融合科学特論Ⅱ－２（知的精密生産研究）

Advanced Science and Technology II-2 (Intelligent Precision Manufacturing)

Professor

Prof. Toshiharu TAURA, Prof. Keiichi SHIRASE, Prof. Toshiya KAIHARA,

Assoc. Prof. Toshiroh SHIBASAKA, Assoc. Prof. Hirofumi SUZUKI,

Assoc. Prof. Akira TSUMAYA

Objective

Manufacturing systems require the innovative theory and technology to achieve much more intelligence, flexibility, productivity and precision for whole activities in design, machining and management. Advanced research topics and technological trends in manufacturing systems are introduced by six professors in their research fields.

Course Description

Creative Engineering Design:

In this lecture, by focusing on the original concept forming process, we aim to understand the nature of the creative design process systematically and theoretically and to learn a method to manage the advanced and social technological development.

Advanced machine tool:

Advanced technologies to achieve intelligent machining process control are discussed. New concept to achieve an autonomous and intelligent machine tool is introduced.

Operational Theory of Intelligent Manufacturing Systems:

This lecture involves operational theory of intelligent manufacturing systems based on autonomous and distributed systems concept, so as to realize their robust and effective management.

Intelligent monitoring:

Machining mechanics and detection of machining conditions for intelligent monitoring system are introduced, and intellectual manufacturing methodology will be discussed.

Ultra precision micro machining:

Advanced ultra precision micro machining technologies are discussed, that are required in developments of the opt-electric devices and precision micro key components.

Management of design knowledge/rationale:

Formalization and representation method of design knowledge and design rationale are explained, and the methodology of management at each stage of the product life-cycle by using design knowledge/rationale are discussed.

Grading

Attendance to the course. Reports regarding to the topics of each lecture.

Textbook

No textbook. Materials will be delivered if necessary.

Restrictions

Basic knowledge regarding to manufacturing system is required.

先端融合科学特論Ⅱ－3（ゲノム育種研究）**Advanced Science and Technology II-3 (Breeding and Genetics of Bioresources)****Professor**

Prof. MUKAI Fumio, Prof. NAKAMURA Chiharu, Prof. HOSAKA Kazuyoshi
Assoc. Prof. MORI Naoki, Assoc. Prof. MANNEN Hideyuki, Assoc. Prof. ISHII Takashige,
Assoc. Prof. TAKUMI Shigeo, Assoc. Prof. OYAMA Kenji, Assoc. Prof. TAKASAKI Takeshi

Objective

Aim of this lecture is to promote understanding the methodologies for analyzing genes associated with economical traits and future-oriented development of agricultural resources and breeding technology using genome information.

Course Description

In this lecture, advanced researches on sustainable agricultural production and food safety will be discussed with emphasis on the following keywords; gene identification, genetic evaluation, polyploid genome, DNA profiling, genetic diversity and food quality.

Grading

Each lecturer evaluates students based on the lecture attendance and brief examination.

Textbook

Not specified

Restrictions

Basic knowledge of genetics is required.

先端融合科学特論Ⅱ－4（国際海事社会の知的拠点形成研究）

Advanced Science and Technology II-4 (Intelligent formation of international maritime society)

Professor

Professors of Maritime Sciences; Masao FURUSHO, Shigeru YOSHIDA, Yuji HAYASHI, Kenji ISHIDA

Objective

The presence of total maritime logistics capabilities of Kobe area have weakened last ten years, especially after the earthquake in 1995.

The objects of lectures are to find ways on Intelligent formation of international maritime society and propose any solutions for reconstructing and innovating maritime cluster of Kobe through the discussions, analyzing social/industrial data, field studies, etc.

Course Description

The students analyze the SWOT<Strength, Weakness, Opportunity, and Threat> of the present maritime cluster factors in Kobe by themselves during the lecture.

The students are required to report of "Kobe maritime cluster Model" with any solutions for reconstructing and innovating maritime cluster of Kobe.

Grading

Grade of reports

Textbook

Not appointed

Restrictions

Nothing special

学際工学特論A (バイオテクノロジーコース)

Advanced course on interdisciplinary Engineering A (Biotechnology course)

H.Yamaji et al

The course covers the biomaterials, regenerative medicine and bioengineering. Various aspects of biotechnology will also be discussed based on biochemical reaction and specific interaction between a pair of chemical or biochemical molecules.

学際工学特論B (シミュレーション工学コース)

Advanced course on interdisciplinary Engineering B (Computational Simulation Course)

Computational science and engineering (CSE) is a rapidly growing multidisciplinary area in connection with science, engineering, mathematics and computer science. CSE focuses on the development of problem-solving methodologies and robust tools for the solution of scientific and engineering problems and is nowadays regarded as a third paradigm in combination with theory and experiment. The computer simulation and optimization of mathematical models can considerably reduce the time required for design and control of new products and processes. Professors from the Department of Electrical, Mechanical, Civil and Information Science Engineerings offer the six course program that gives profound knowledge on Fundamental of Computational Simulations, Earth Environmental Preservation and Safety, Inverse Problems and Safety Engineering, Optimum Structural Design, Atomistic Nano-Device Simulation, and Electronic-Atomic Simulation for Material Design. Each lecture is well designed in cooperation with the other lectures.

学際工学特論C (流体・輸送現象コース)

Advanced course on interdisciplinary Engineering C (Fluid. Transport Phenomena course)

This course covers Basic Fluid Dynamics, Heat and Fluid Phenomena Based on Statistical Mechanics, Turbulent Transport Phenomena and Heat and Mass Transfer. The goal of this course is to acquire the skill for design and control of practical fluid phenomena.

学際工学特論D (ナノ材料工学コース)

Advanced course on interdisciplinary Engineering D (Nanomaterials Engineering course)

The course covers peculiar physical and chemical properties of nanomaterials, as well as novel functionalities and possible applications of them. Special attention is paid on synthesis, characterization and properties of nanomaterials.

学際工学特論 E（経営概論コース）

Advanced course on interdisciplinary Engineering E (Introduction to business administration for engineers)

Global environment requires Japanese companies to introduce sophisticated management style based on management of technology (MOT) in order for value capturing and value creation. We believe that MOT must be conducted well by engineers who have knowledge of not only technology but also business administration and so that getting business literacy will give engineers advantages in various business scenes.

Some topics are picked up in this lecture among standard business administration topics that includes strategy, marketing, organization, financial accounting, managerial accounting, corporate finance, MOT, business law, and so on.

Only few topics and only introductory knowledge can be given under course constraints of time, we hope student voluntarily take next steps to learn business more or/and to take advanced course.

Strategy, organization, marketing:

Y. Inoue (Professor, University of Marketing and Distribution Sciences)

Management accounting, costing:

K. Yasui (Associate professor, Business administration)

Financial accounting:

M. Doi (Junior research fellow, Headquarters for Innovative Cooperation and Development)

Business law:

T. Minakata (Visiting professor, Headquarters for Innovative Cooperation and Development)

学際工学特論 F（安全と共生の都市学コース）

Advanced course on interdisciplinary Engineering F (Urban Design towards Safety and Symbiosis course)

T. Shigemura, Y. Asakura

The course covers the comprehensive design theories and methodologies towards safety and symbiosis of urban space. The course includes (1) natural / social hazards and safety urban design, and (2) sustainable urban design with natural / social symbiosis.

インターンシップ 賀谷信幸 ほか

Internship

コースの概要

The purpose of this course is to educate the students with cooperation of companies. All the students in this course are sent to the companies to work with the staffs for the researches to develop new technologies and to present finally the research results.